



別記第1号様式 裏面

氏名	性別	続柄	生年月日(才)	勤務先、学校名等	月収	同居別居
		本人	( )			同
<p>② 家族の状況</p>						
<p>③ 統</p>						
<p>④ 計</p>						
<p>⑤ 上記のとおり相違ありません。</p>						

(申請者の方への注意事項)

- 1 貸付の申請をされる方は、この注意事項をよく読んでから記入してください。わからない点があれば、市町村役場の窓口におたずねください。
- 2 「\*」、「あみかけがある部分」を除き、全項目に記入してください。
- 3 記入の際は、ボールペンではっきりとていねいに記入してください。
- 4 ①「申請日」は、この申請書を市町村窓口へ提出した日を記入してください。
- 5 ②「連帯借主又は法定代理人の氏名」は、母又は寡婦が、修学資金、修業資金、就職支度資金又は就学支度資金の借入を受けるときは、この借入れで入学等をすることになる児童の氏名を記入してください。申請者が児童本人の場合は記入不要です。
- 6 ⑤「受給者区分」は、申請者が母又は寡婦の場合「1」を、児童が申請者である場合は「2」を○で囲んでください。
- 7 ⑥「住所」は、字名、番地、アパート名等を省略せずに正確に記入してください。
- 8 ⑦「職業、勤務先、学校等」は、会社等にお勤めの方は、会社名、支店名、所属職名等を記入してください。お店などを営業されている方は、業種、店の名前等を記入してください。学校へ通学されている方は、学校名を記入してください。
- 9 ⑧～⑩は、修学資金、修業資金、就職支度資金、就学支度資金を申請される方は、この借入れで入学等をすることを記入してください。申請者が児童本人の場合は記入不要です。
- 10 ⑪「金融機関」は、貸付金を払い込む口座ですから、正確に記入してください。(改めて手続きが必要となります。)
- 11 ⑫「他の借入金の状況」は、この貸付以外に借金がある場合、その内容を記入してください。(児童本人が申請者の場合は、連帯保証人である母の状況を記入してください。)
- 12 ⑬「償還方法」は、どのような方法で返済するのか記入してください。年賦、半年賦の場合は、何月に返すのか記入してください。
- 13 ⑭「私払方法」は、納入通知書により銀行などの窓口で支払う方法と、銀行口座から引き落とす方法がありますので、どちらかを○で囲んでください。
- 14 ⑮～⑰は、保証人の状況を記入してください。
- 15 ⑱～⑲は、児童本人が申請者となっている場合は、その児童が属する世帯の状況を記入してください。
- 16 ⑳「母子世帯類型」は、なぜ母子世帯になったのかその理由に○をつけてください。
- 17 ㉑「寡婦世帯類型」は、寡婦の方のみ記入してください。
- 18 ㉒ この申請書のほか、戸籍簿本、住民票、所得証明書、家計の状況調べ、その他資金により添付書類が必要ですので窓口でおたずねください。
- 19 この申請書、添付書類等の内容が真実と違ふことがわかった場合、貸付決定を取り消すことがあります。

市福祉事務所長 町 村 長

印

別記第2号様式

母子福祉団体貸付申請書			
受付年月日	受付番号	管理番号	受付番号
年 月 日			

熊本県母子・寡婦福祉資金（資金）の貸付けを受けたので、関係書類を添えて申請します。

平成 年 月 日

主たる事務所の所在地  
ふりがな  
法人の名称

ふりがな  
代表者氏名

熊本県知事 様

印

申込金額	円	貸付資金	円
資金の種類	※ 資金の種類	資金の種類	資金の種類
償還の方法及び期間	償還の方法及び期間	償還の方法及び期間	償還の方法及び期間
据置期間	年 月 日	備 考	

法人の設立許可及び登記	許可	年月日	年月日
-------------	----	-----	-----

事業場の所在地

事業の種類

事業場の使用人員	法第6条第1項に規定する配偶者のない 女子で現に児童を扶養しているもの 人	その他の者 人	計 人
----------	---	------------	--------

上欄の事業を他の者が使用するときはその理由

氏名	男女の別	生年月日	配偶者 有無	住 所	住 所	住 所		職業及び 収入年額	主な資産 及び負債
						氏名	氏名		

理事の氏名及び住所等  
貸付けを受けようとする事業に使用されている者のうち、法第5条第1項に規定する配偶者のない女子で現に児童を扶養しているもの又は法第5条第3項に規定する寡婦の氏名、住所及び家族の状況

別記第5号様式を次のように改める。

別記第5号様式

法定代理人の貸付同意書

平成 年 月 日

熊本県知事

様

法定代理人の住 所

氏 名

印

(貸付申請者との続柄

)

私は、下記の者が別添貸付申請を行うことに同意いたします。

記

1 貸付申請者

住 所

氏 名

( 年 月 日生)

2 貸付申請金額

金

円

別記第 15 号様式を次のように改める。

別記第15号様式

母子(寡婦)福祉資金貸付継続申請書

平成 年 月 日

熊本県知事 様

申請者 住所 氏名 印

下記のとおり母子(寡婦)福祉資金の貸付けを継続して下さるよう申請いたします。

記

- 1 資金種類 資金
- 2 貸付番号 第 号
- 3 貸付決定金額 金 円
- 4 貸付金受領済額 平成 年 月分から平成 年 月分まで  
( 年 箇月分 円)
- 5 母の死亡年月日 平成 年 月 日
- 6 貸付継続希望期間 平成 年 月分から平成 年 月分まで  
( 年 箇月分 円)
- 7 母子及び寡婦福祉法施行令第5条第2項(第33条第2項において準用する同令第5条第2項)に定める父の状況  
死亡、生死不明、遺棄、海外在住、障害、拘禁、その他( )

上記の借入れについて連帯して債務を負担します。

連帯保証人 住所 氏名 印

連帯保証人 住所 氏名 印

附 則

- 1 この要項は、告示の日から施行し、平成15年4月1日から適用する。
- 2 この要項の施行の際現に改正前の熊本県母子福祉資金及び寡婦福祉資金貸付要項の規定に基づいて提出されている申請書その他の書類は、改正後の熊本県母子福祉資金及び寡婦福祉資金貸付要項の相当規定に基づいて提出された申請書その他の書類とみなす。



